

会員・会友・協力会員各位

(公社)日本建築家協会千葉地域会

(公社)日本建築家協会千葉地域会第6回 役員会報告

【全役員】 榎本雅夫、荒井裕三、寺川典秀、星野 治、森田敬介、大岩義充、安達文宏、井上茂實、  
岡田成和、風戸宏孝、河原泰、向後勝弘、小島広行、橋場隆夫、柳田富士男  
監査/宇野武夫、村井一知 協力会/鈴木周二、川原武美、  
オブザーバー/櫻井 修

(出席者は氏名下にアンダーライン)

## 1. 行事の実施と予定

### (1) 前回役員会以降に実施された会議・行事、及び報告事項等

- ア. 9月29日(火)第176回ゴルフコンペ(柿の木台CC)
- イ. 10月01日(木)建築相談
- ウ. 10月09日(金)第28回千葉県建築学生賞協議会全体会議No.2
- エ. 10月14日(水)千葉県建築設計6団体連絡協議会実務者会議
- オ. 10月15日(木)建築相談
- カ. 10月17日(土)第1回オープンハウス見学会
- キ. 10月19日(月)JSCA千葉役員会
- ク. 10月20日(火)JIA公益事業委員会
- ケ. 10月20日(火)千葉県建築設計6団体連絡協議会
- コ. 10月20日(火)千葉県建築設計6団体連絡・意見交換会及び懇親会
- サ. 10月20日(火)第28回千葉県建築学生賞協賛委員会 No1
- シ. 10月20日(火)JIA支部選挙管理委員会

(報告事項等)

- ・ JIA公益事業委員会(星野)  
助成金の前期分が決定した。後期分を11月下旬まで募集中。  
JIA東海支部 300,000円、JIA東北支部 150,000円、JIA保存再生修復 420,000円  
JIA杉並クラブ 180,000円 合計1,050,000円  
広く市民に開放された内容が認定される傾向がある。千葉から申請した百科講習会は専門性が高いため、また協力会員の名前が表にできるのも敬遠され、評価されなかったようだ。
- ・ 支部総務委員会(榎本・議題⑦参照)  
地域活動費の配分方法について委員会にて検討している。
- ・ 6団体連絡会議(榎本・議題⑧参照)
- ・ JIA支部選挙管理委員会(風戸)  
委員長に風戸幹事が就任することになった。

### (2) 次回役員会までに開催する会議・行事予定

- ア. 10月29日(木)~30日(金)秋の研修旅行「長野県 善光寺と小布施を訪ねる旅」
- イ. 11月05日(木)建築相談
- ウ. 11月06日(木)JIA関東甲信越支部地域サミット(長野県)
- エ. 11月09日(水)JSCA千葉役員会
- オ. 11月19日(木)建築相談
- カ. 11月19日(木)千葉弁護士会・建築相談協議会合同勉強会(建築会館8F)
- キ. 11月20日(金)千葉県耐震判定協議会総会
- ク. 11月26日(木)11月定例役員会

## 2. 本日の議題

### ① 秋の研修旅行について

- ・ 参加者20名となった。
- ・ 正会員の参加者が半数以下である点について、今後検討の必要がある。

② オープンハウス(見学会)報告について

- ・ 会員・会友のみならず建築関係 14 名の参加者があった。
- ・ 見学会の定例行事化、他行事との複合化、遠方地対応等について検討したい。
- ・ 募集案内時だけではなく、事後についても活動報告として HP 等を通して広報したい。

③ 千葉県建築耐震判定協議会理事の推薦について

- ・ 櫻井修氏の理事継続について、承認された。

④ 協力会員の入会について

- ・ 株式会社セレコ 代表取締役 小泉哲男  
入会が承認された。

⑤ 新年会と講演会について

- ・ 2016 年 1 月 21 日(木)開催で決定する。
- ・ 当日は、役員会→講演会→新年会 という流れとし、新年会は 17:30 から開催する。
- ・ 講演会の開始時間は講師と相談する。(榎本)
- ・ 新年会での法人協力会イベント企画を検討する。

⑥ 第 4 回建築展について

- ・ 千葉市から当初予定の日程を 1 週間ずらしてもらえないかとの打診があった。10 月 18 日は市民の日となっているので、千葉市と共催が可能かも考えていきたい。
- ・ 今年度末には内容を固めていくよう進めていきたい。
- ・ 助成金申請の確保に必要な手法を研究する必要がある。(学生賞も同様の課題)
- ・ メーカー等のスポット協賛による収入増大手法について (学生賞も同様の課題)  
協力会員になるのは難しい企業もスポット的な協賛ができる会社が多数あるので、今後考えていきたい。

⑦ 地域活動費の削減と今後の運営方法について

- ・ 支部活動費総額の削減と地域会への配分方法の決定工程  
支部総務委員会には各地域会の意見が集まってきており、地域サミットでの検討報告を経て、次回の幹事会で決定される予定である。  
今年度は一律 14.2%の減額で決定と思われる。
- ・ 現時点における収支予測と収入減に伴う千葉地域会としての対処方法  
会員増強、有料行事の企画、協賛企業の獲得等、収入の増大に努める一方、事務局の維持費減額を行う必要がある。

⑧ その他

- ・ 6 団体連絡会議関連  
(6 団体より)
  - ・ 災害時の 6 団体協力体制づくりについて検討中である。
  - ・ 県教育施設課の定期検査業務の実情と合理化、業務費の基準検討等について協議した。

(10 月 19 日)

- ・ 入札制度の改善に向けて各自治体ごとに問題点を抽出し、改善に向けた要望書として、再度 来年 4・5 月に提出を目指す。(最低制限価格設定促進・事前払い制度監理業務への拡大等)
- ・ その他、要望書の内容には、市川市条例の事前協議制度簡素化要望も盛り込む予定。
- ・ 省エネ講習会の来年開催を企画中である。
- ・ LCC マネジメント、維持保全計画手法に関する講習会の開催を企画する。
- ・ 建築士会主催「まちなみウオッチングいちばら」の共催に伴い、他団体と調整を図った上で、共催金を支出する。  
(千葉県より)
- ・ 千葉県建築基準法令関連取扱基準集 2015 を作成、HP に掲載している。
- ・ 建築士事務所の所属建築士情報が登録事項となった。(事務所協会へ提出・協会 HP 参照)
- ・ 県民向け住宅リフォーム講習会及び相談会の開催  
(12 月 5 日・ちば安心住宅リフォーム推進協議会(事務所協会内))
- ・ 地域サミット長野について  
星野副代表が(代理)出席予定。
- ・ HP 上の代表コメントについて  
榎本代表のコメントを J I A 千葉地域会の HP に近く掲載する。
- ・ 千葉市における JIA の CPD が認定されない件について(星野)  
J I A 本部公益事業委員会で、日常業務における CPD 認定基準が議題の一つとなった。  
千葉市では設計業務の入札に総合評価発注方式が一部採用され、CPD は評価項目の一つであるが、J I A の CPD (公益社団法人日本建築家協会 C D P 取得単位証明書／C P D 評議会) が認められていない状況にある。千葉市に申請すれば JIA も認定団体になることは容易と思われるが、JIA 本部としては建築技術教育普及センターに一本化する(JIA 単独で自治体への申請はしない。)方針であるとされる。  
役員から、現状では JIA の CPD 存在意義を疑問視する意見も出された。  
千葉地域会としては早期の改善を図りたいが、詳しい情報が乏しい現時点では地域会の単独行動は控えるべきと判断に至った。
- ・ 千葉市議会棟の保存活用について(櫻井元代表)  
櫻井元代表より、千葉市議会棟の保存活用について、会として検討するか協議依頼があった。
- ・ 川岸先生ご逝去  
来年 1 月くらいに日本大学でお別れの会を開催する予定。